（特活）関西 NGO 協議会
2017 年度活動報告

（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）

関西 NGO 協議会は、2015 年度に 2020 年まで 5 年間の再生計画「Re Birth 2020」を決定、2016 年度には事業内容の見直しと組織体制の改正を行った。事業内容については、同計画の決定以前から、会員向けの事業を維持しつつ、「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth～高校生のための国際協力 EXPO～」（以下、ワンフェス for Youth）や企業との連携を促す「かんさい CS ネットワークフォーラム」（以下、CS フォーラム）の開催などを実施。一方、組織体制については、会員団体以外の個人の理事就任を可能にし、事務局業務をサポート・強化するための常任理事会を設置した。これにより、NGO 間の互助協力組織から、広く人々に支えられ、市民社会と国際協力のこれからを提案できる次世代型中間支援組織に移行するという組織ビジョンの実現の一歩を踏み出した。しかし、2017 年度には、組織運営に計画を明確に位置づけながら進めることができず、事業内容の見直しの中で提案されていた新たな NGO スクール（ちゃやまち大学）構想が着手できていない。また、ワンフェス for Youth、CS フォーラムなどにより、収入源の多様化と歳入増を目指したが、十分な成果を達成できないでいる。以上を踏まえ、計画の中間年に当たる 2018 年度には、計画の見直しと、今後のゴール設定、それを達成するための体制整備を進めていく必要がある。

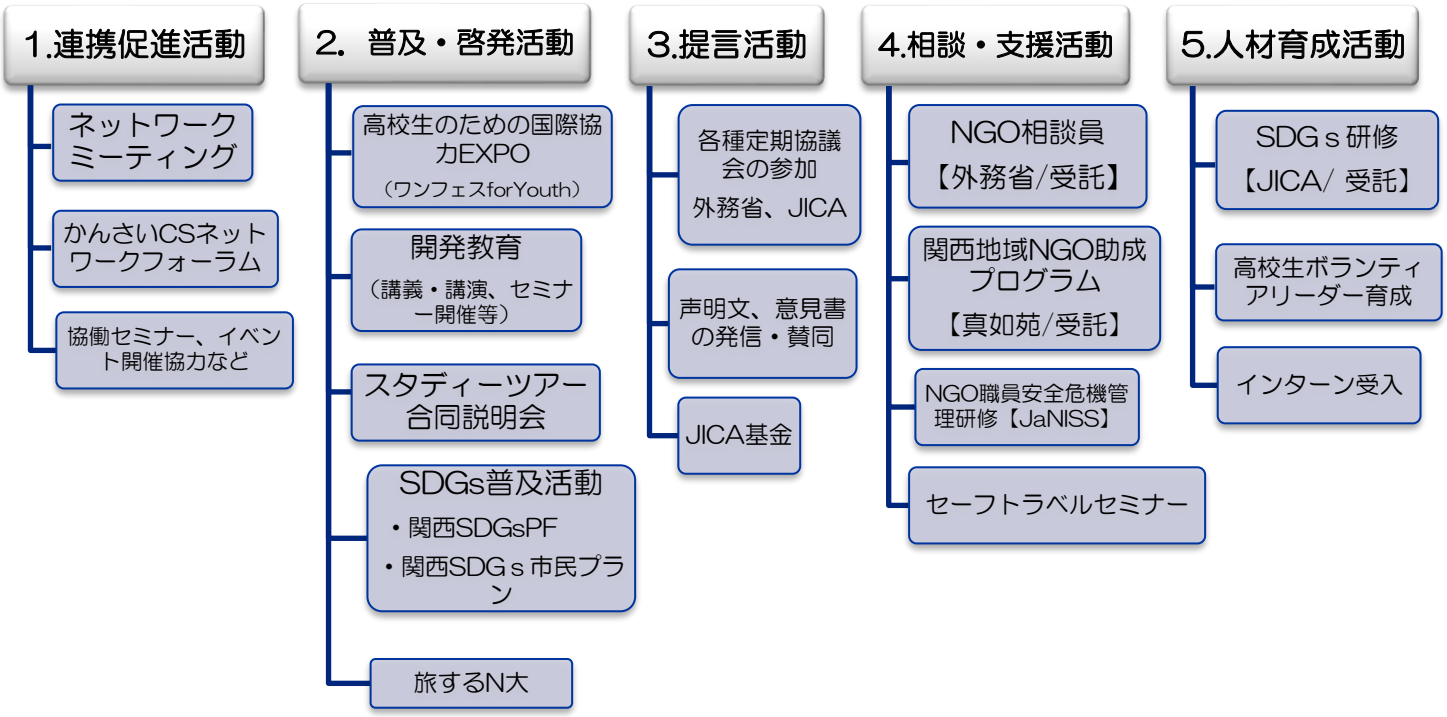
ほか、連携促進事業では、昨年度に引き継ぎ、国際開発学会社会連携委員会と「持続可能な開発目標（SDGs）―企業や NGO 等による認知・取組促進上の課題」セミナーの開催、新たに、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）の協力を受け、ヒューマンライツ・ナウ、大阪ボランティア協会と、NGO/NPO のための法律セミナー「共謀罪とは？ NGO・NPO 活動への影響を考える」の開催など、学会やマルチアクター型での連携・協力がなされた。

提言活動においては、NGO-外務省定期協議会連携推進委員会への委員の派遣が再開され、NGO 無償資金、NGO 環境整備事業に関して、関西で活動する NGO の声や現状を伝え、提言を含めその役割を果たすことができた。また、秘密保護法（NANCL）運営の世話人を当会から継続して派遣し、新 NANCL 移行にむけて貢献した。2017 年度は、当会から独自に発出した声明はなかったが、『南スーダン等支援現場への渡航制限による人道支援の空洞化とその改善への要望』（2017 年 4 月 26 日、NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）他）要望団体として参加、また、昨年度に続き、「NGO 非戦ネット」へ加盟、新しくは「ビジネスと人権 NAP 市民社会プラットフォーム」へ加盟する決定がなされた。

人材育成事業については、JICA/NGO 等提案型事業を受託し、NPO の中間支援組織や企業 CSR 担当者を含む運営委員会を立ち上げ事業を開始した。また、海外で活動する NGO 職員向け危機管理研修を NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）、難民支援協会と開催し西日本から10団体が参加した。

2017 年度は、関西 NGO 協議会設立 30 周年であり、3 月 31 日に記念レセプションを実施し加盟団体を中心に約 80 名が参加した。その際、SDGs 市民プランの策定を呼びかけ、参加者とともに『関西 SDG 市民プランづくり』の提案がなされた。

	関西 NGO 協議会　5 本の活動の柱
1	NGO 及び、他セクターとの連携促進活動
2	国際協力に関する知識の普及･啓発活動
3	国際協力を促進するための提言活動
4	NGO 活動に関する相談･支援活動
5	NGO 活動に関する人材育成活動



1. NGO 及び、他セクターとの連携促進活動

事業名(継続)	**会員・加盟団体のためのネットワークミーティング**
担当	事務局:髙橋
開催日と開催場所	2017年5月27日(土)17:15～18:30 @大阪聖パウロ教会2階
テーマ	『交流会とイギリス Bond 報告会』
参加者数	参加者:15名
報告者	柏木 宏(大阪市立大学大学院創造都市研究科教授)
	3 月に実施されたイギリス Bond 調査団のメンバー(JICA 職員及びネットワーク NGO 関係者で構成)として柏木代表が派遣された。ヨーロッパ最大のネットワーク NGO・Bond の活動を参考に、これからの関西 NGO 協議会に期待される新たな役割、存在意義、ネットワーク NGO や JICA との連携について、加盟団体・会員・ボランティアと考えを共有する場とした。

事業名(継続)	**第 5・6 回かんさい CS ネットワークフォーラム**
担当	理事会:柏木、熱田、田尻、村尾 事務局:松岡、高橋
開催日	①第 5 回 2017 年 9 月 21 日(金) 14:00～17:00 ②第 6 回 2018 年 3 月 8 日(木) 15:00～17:30
開催場所	①グロービス経営大学院大阪校 ②大阪聖パウロ教会研修室
共催・協力	※連合・愛のカンパ(地域助成)助成事業 ①第 5 回 共催:大阪ボランティア協会 協力: グロービス経営大学院大阪校 後援:大阪商工会議所、大阪府商工会連合会、JICA 関西
受益者	①30 名(関西地域の中小・中堅企業、NGO／NPO、行政、教育機関等) ②8 名(検討会議のため関西 NGO 協議会加盟団体スタッフに限定)
内容	第 5 回フォーラムはグロービス経営大学院で開催した。関西地域の NGO と企業(とくに中小企業)双方が出会える場として、継続的な開催、より多くの企業の参加といった要望が寄せられているが、NGO と企業のニーズの差異、集客の課題、安定した運営体制など、当初のミッション・目的を見直しも含め、会員の意見を聴きながら、本事業の在り方を検討する場を設けた。 【フォーラムの概要】 ■第 5 回 『これからのパートナーシップを考える ～地域社会と国際社会の中の企業と NGO/NPO』 製品とサービスを通じて社会に貢献している企業と、社会のさまざまな課題に取り組んでいる NGO/NPO は、どこでどのように連携・協働していけるのか。地域社会と国際社会とにかかわりなく、パートナーシップのもとに一緒に取り組む必要性が国連の SDGs(持続可能な開発目標)でも、パートナーシップの重要性が強調されている。第 5 回は、20 年近く連携・協働に取り組み、「日本パートナーシップ大賞」主催者であるパートナーシップ・サポートセンター代表理事の岸田眞代さんを招聘し報告を受けた。また、第 12 回日本パートナーシップ大賞でグランプリを受賞した(株)スーパーホテル(大阪市西区)に事例の紹介を受けた。

	【プログラム】 1)「企業と NGO/NPO とのパートナーシップ～地域社会と国際社会の未来を考える」 （特活）パートナーシップ・サポートセンター 代表理事 岸田眞代 2)事例紹介「スーパーホテルがめざす地域社会貢献」 （株）スーパーホテル 経営品質部部長 星山英子 3)ワールド・カフェと交流会 ゲスト：グラクソ・スミスクライン株式会社 伊藤里砂子 ■第 6 回 『かんさい CS ネットワークフォーラム検討会議』 本事業は「企業と NGO の協働、共創関係」をめざして 2014 年以来 5 回の開催を重ね、一定の参加者を得てき。そこで、4 年目となる 2018 年度を迎えるにあたり、めざしてきたミッションにより近づくとともに、会員団体のニーズにも応えていくため、これまでの経過を振り返り、今後を展望する機会を持った。具体的には、4 年前に掲げたミッション自体の再定義も含め、現在の状況の中で何が必要なのか、会員団体のニーズはどこにあり、それに応えるためには何が必要なのか、といったことについて、会員団体から意見を聞いた。また、第 5 回フォーラムを共催した大阪ボランティア協会から、企業の CSR 担当者向けフォーラム（フィラソロフィー・CSR リンクアップフォーラム）の事業評価や、今後の連携関係などについてレクチャーを受けた。 【プログラム】 1)『フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム 成果と課題』 （社福）大阪ボランティア協会 岡村こず恵 2) 意見交換・ディスカッション ※司会進行・ファシリテーター 松岡秀紀 参加団体：アクセス－共生社会をめざす地球市民の会、アジア協会アジア友の会、オイコクレジット・ジャパン、CODE 海外災害援助市民センター、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所、テラ・ルネッサンス、関西 NGO 協議会

第 5 回フォーラム（2017.9.21）

第 6 回フォーラム（2018.3.8）

事業名(継続)	**国際開発学会社会連携委員会 連携促進** **「持続可能な開発目標(SDGs)** **―企業や NGO 等による認知・取組促進上の課題」セミナーの開催**
担当	事務局:高橋
実施日時	2017 年8月 5 日(土)15:30～17:30
実施場所	大阪聖パウロ教会大会議室
受益対象者および人数	大学・研究機関、自治体、議員、企業、NGO、JICA 、学生等 40 名
連携先	国際開発学会 社会連携委員会(セミナー主催者)
実施内容	「持続可能な開発目標」(SDGs)については、学界、NGO、企業などにおいて非公式な勉強会やセミナーの開催が相次いでいる。こうしたこれまでの取組を踏まえ、SDGs に関する認知や実際の取組を促進していくうえで企業や NGOといった諸アクターがかかえる課題について、講師による分析を伺い、あらためて今後の取組の参考とした。

事業名(新規)	**弁護士を含むマルチアクター連携促進/NGO・NPO のための法律セミナー** **「共謀罪とは？ NGO・NPO 活動への影響を考える」セミナーの開催**
担当	事務局:高橋
実施日時	2017 年 8 月 4 日(金)18:30～20:30
実施場所	大阪市立大学大学院 梅田サテライト 105 教室
受益対象者および人数	NGO/NPO、大学・研究機関、学生など 35 名
連携先	(一財)アジア・太平洋人権情報センター、(社福)大阪ボランティア協会、 認定 NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野
実施内容	【講師】 弁護士 弘川 欣絵 「共謀罪」の趣旨が盛り込まれた改定組織的犯罪処罰法が、7 月 11 日に施行され、同法が、NGO・NPO をはじめとする市民セクターへの活動の広がり・発展の妨げとなる悪影響も懸念されている。法律家を講師に迎え、市民活動、市民運動の視点から、「共謀罪」のポイント(意図と本質)、および市民社会や活動への影響、そして市民社会の課題について報告を受けた。

事業名(継続)	**ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会への参加**
担当	事務局:高橋
実施日時	実行委員会:2017 年～2018 年 4 月/月 1 回の実行委員会 開催日:2018 年 2 月 3 日(土)、4 日(日)
実施場所	実行委員会:関西国際交流団体協議会事務所 開催場所:北区民センター、扇町公園等
受益対象者および人数	大学・研究機関、自治体、議員、企業、NGO、JICA 、学生等 40 名
連携	関西国際交流協議会
実施内容	開催協力団体として、ワールド・フェスティバル実行委員会のオブザーバー参加。 当日は一般ボランティアの担当者として、開催イベントに応じて会場の設営などを当日ボランティアとともに実施。

2. 国際協力に関する知識の普及、啓発活動

<table>
<tr><td>事業名(継続)</td><td>ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2017～</td></tr>
<tr><td>担当</td><td>事務局:谷川・高橋・佐古　アルバイト:岡田(2016 年度インターン)・上田</td></tr>
<tr><td>審査員協力</td><td>岩崎裕保(開発教育協会)、林田雅至(大阪大学教員)、熱田典子(アジア協会アジア友の会)、山上正道氏(AMDA 社会開発機構)、 佐藤正隆(リタワークス(株))、
石崎雄一郎(ウータン・森と生活を考える会)、藤森みな美(テラ・ルネッサンス))、
片田孫朝日(灘高校・教員)</td></tr>
<tr><td>実施日時</td><td>2017 年 12 月 23 日(土・祝) 10:00～16:00</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>大阪 YMCA</td></tr>
<tr><td>受益対象者
および人数</td><td>参加者総数 5, 500 人(延べ)、参加高校 46 校
(参加高校生・教員約 1100 人、関係者及び NGO 約 200 人)</td></tr>
<tr><td>共催・協力</td><td>【主催】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会(高校教員、加盟 NGO 職員で構成)、特定非営利活動法人関西 NGO 協議会 ※共同主催
【共催】公益財団法人 大阪国際交流センター(アイハウス)
【協力】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>【概要】①「世界的な視野を持って、社会課題の解決に向け行動がとれる次世代の育成」、②「関西地域で、高校生を含めた国際協力分野に関わるセクターのネットワークの強化・連携の促進」を目的とし 2014 年度より実施、今年度は第 4 回。

事務局は関西 NGO 協議会が担当。企画立案や当日ボランティア・コーディネーションを高校生が夏から約半年の準備・研修期間を経て担当している。事業の中心にも高校生が主体的に関わる国際協力イベントである。

本年度は参加者実数・参加高校数ともに増加した。参加者の中からは、本事業をきっかけに国際協力や社会参画に関心を持ち、イベント後にも主体的に活動を継続する事例も見られた。本事業が参加高校生に与える影響については教員からも高い評価を得て、学校側との良好な協力関係を築いている。

4 回の開催を経て、主要な参加者の追跡調査を含む事業評価が必要である。国際協力分野の発展のためには、国際的な視野を持ち、NGO/NPO の活動を理解する若い世代の育成や、多様なセクターとの連携・協働が益々重要となることから、2018 年度も継続して開催する。

【2017 年度 事業の概要】
<table>
<tr><td>名 称</td><td>『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2017～』</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>“知ろうぜ世界！動かせ未来！”</td></tr>
<tr><td>内 容</td><td>ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、バーチャルリアリティ体験コーナー、企業・NGO によるプログラム、高校生活動報告会、民族衣装ファッションショー、国際協力大学生エッセイコンテスト、外務省 NGO 相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど</td></tr>
<tr><td>後 援</td><td>外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD 活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県教育委員会、滋賀県私立中学高等学校連合会、京都府教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、兵庫県教育委員会、兵庫県私立中学高等学校連合会</td></tr>
<tr><td>協 賛</td><td>イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、特定非営利活動法人グローバルな学びのコミュニティ・留学フェローシップ、リタワークス株式会社、アサヒワンビールクラブ、 ジブラルタ生命保険株式会社、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、ロート製薬株式会社、泉南乳業株式会社、株式会社マイチケット、(協力:大阪商工信用金庫※機材貸出)</td></tr>
<tr><td>助成金等</td><td>外務省 NGO 事業補助金事業、積水ハウスマッチングプログラム助成事業</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

事業名(継続)	**第 16 回・第 17 回スタディツアー合同説明会**
担当	事務局:谷川
実施日時	夏期　第 16 回　6 月 17 日(土)　／　秋期　第 17 回　11 月 18 日(土)
実施場所	龍谷大学大阪梅田キャンパス
受益対象者および人数	スタディツアーやワークキャンプに関心のある学生、社会人、シニア層 ・第 16 回スタディツアー合同説明会　来場者数 73 名／参加 NGO　9 団体 ・第 17 回スタディツアー合同説明会　来場者数 51 名／参加 NGO　7 団体
共催・協力	【共催】株式会社マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
実施内容	NGO が開催するスタディツアーやワークキャンプに関心のある市民を対象に複数の NGO が合同でスタディツアーやワークキャンプの情報を提供した。 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター、(株)マイチケット、関西 NGO 協議会との共催事業であるが、知名度もあり、多くの来場者が見込める事業であるため、関西 NGO 協議会では、NGO 相談員ブース出展・広報業務にて関わることとする。 ・外務省委託 NGO 相談員出張サービス:PHD 協会、関西 NGO 協議会が国際協力やキャリア等の質問や相談対応に応じた

事業名(単発)	**※ワン・ワールド・フェスティバル内プログラム** **事例紹介！高校生・大学生と NGO がつながる方法とは？**
担当	事務局:谷川・佐古
実施日時	2018 年 2 月 4 日(日)16:10～17:00
実施場所	北区民センター2 階　会議室5・6(※ワン・ワールド・フェスティバルプログラム)
受益対象者および人数	高校生・大学生を中心に、教員・NGO 関係者など 38 名
共催・協力	＜登壇者＞ ・安里佳世子(大阪府立佐野高校教員)、佐野高校生徒 2 名 　(ワンフェスユースボランティアリーダー・実行委員参加者) ・上野智彦、高橋大希((特活)CODE 海外災害援助市民センター)
実施内容	若い世代の人材育成をテーマに、高校生・大学生がボランティアやインターンとして NGO と関わることによる教育的な効果や人材育成事業としての成果を、高校生・大学生の視点と、教員・NGO 側それぞれの視点から事例紹介の形で報告がされた。

事業名(継続)	**講演、講座、講師紹介**		
担当	事務局:高橋 協力役員:岩崎、熱田、吉椿、他加盟団体		
実施内容	大学や他セクターからの依頼で、国際協力 NGO の活動や国際協力の潮流について、国外・国内の事例を併せ広く学生、社会人に周知する講座の講師、加盟団体への講師紹介。		
	講演・講義依頼(主なもの)	講義名	受講者人数
	神戸女学院大学(前期、15 回) 龍谷大学(後期、全 15 回)	『ボランティア論』 『国際 NGO 論』 ※NGO ユニット型講座	神戸女学院大学学生 110 名、 龍谷大学経済学部・法学部の学生 40 名

事業名 （新規）	**SDGs 普及・啓発活動** **①関西 SDGs プラットフォーム（事務局：JICA 関西他）運営委員の参加** **②関西 SDGs 市民プランづくりの呼びかけ**
担当	理事：熱田 【コーディネーター】岩﨑、【教育】新田・田尻、【国際】三輪・吉椿、【国内】栗田・東川
実施内容	①「持続可能な開発目標：SDGs」の達成に向けて、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関といった、多様なアクターが参加するプラットフォームとして設立され、熱田副代表が運営委員に選出された。今後運営委員会に参加することで、市民社会の声をプラットフォームの活動に反映させる。 ②関西 NGO 協議会 30 周年記念レセプション（3 月 31 日開催）にて、関西の市民が SDGs を考えプランを作るグループの設立が提案され、「国際」「国内」「教育」の三つの分科会の設立と、参加が呼びかけられた。

事業名 （新規）	**関西 NGO 大学「旅するＮ大」**
担当	関西 NGO 大学運営委員会
実施内容	関西 NGO 大学は、1987 年度に第1期の講座を開催し、その後毎年継続して講座を実施し、昨年度の 2016 年度に第 30 期を開催した。30 期の開催をもって、一旦一区切りとし、2017 年度は次の展開を考えるべく、従来のような講座は開催せず、検討と試行の年度となった。 具体的には、上半期に、「Ndai Bar」を数回開催。これは、場所は、あおぞら財団の共有スペース「イコバ」を会場とし、平日の 19 時 30 分ごろから 22 時ごろまで、内容は、参加者が順番に発題していくスタイルをとって実施した。また、「Ndai Bar」のなかで、今後の NGO 大学のあり方や、「旅するＮ大」の企画案なども検討した。 「旅するＮ大」は、これまでの NGO 大学の参加者や発題者など、NGO 大学にゆかりのある人たちを訪ね、その人たちの仕事や生き方に学ぼうとするものである。 下半期に、「旅するＮ大」として、NGO 大学の運営委員を長く務めた荒川共生さんの現在の住まいである「共生庵」（広島県三次市）を訪ねる企画を立てたが、運営委員の日程の都合がつかず実施に至らなかった。しかし、「旅するＮ大」の簡易版として、2 月に神戸市の岡本周辺のフィールドワークを実施した。沖縄の書籍やグッズを扱われている「豆書房」を訪ね、沖縄の話や、なぜ沖縄にこだわった書店をされているのか、について話していただいた。2018 年度は、本格的な「旅するＮ大」の実施と、「Ndai Bar」の実施を計画している。

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth

高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2017 の風景　　2017.12.23

高校生実行委員が中心となり実施した開会式での「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップの様子（左上）、高校生国際協力活動助成プログラムにて、「多文化共生のための啓発ワークショップ」の企画プレゼンテーションを行う高校生と審査員の様子（右下）

3. 国際協力を促進するための提言活動

<table>
<tr><td>事業名
（継続）</td><td>提言専門委員会開催、各協議会の参加、JICA 基金の運営及び審査</td></tr>
<tr><td>担当</td><td>担当部署：理事会
担当理事：
加藤良太（提言担当理事・NGO-外務省定期協議会 ODA 政策協議会コーディネーター）
熱田典子（副代表・NGO-外務省定期協議会連携推進委員会委員）
坂西卓郎（提言専門委員会外部アドバイザー・NGO-JICA 協議会コーディネーター）、
河合将生（提言専門委員会外部アドバイザー、JICA 基金運営委員）
事務局：髙橋</td></tr>
<tr><td>事業目的と内容</td><td>NGO と ODA 関連機関との対話の場への参加、コーディネーターを派遣、加盟団体にフィードバックする。
■NGO-外務省定期協議会（ODA 政策協議会（年3回）、連携推進委員会（年 3 回）、全体会（年 1 回））
■NGO-JICA 協議会（年 4 回）
NGO-JICA 協議会関連の NGO 連携支援事務局支援業務担当
■JICA 基金運営委員（JICA 基金運営方針の決定及び申請書の審査業務）</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>主に東京の外務省、JICA 施設で開催。地方開催として、今年度は京都（NGO・外務省定期協議会）、北海道（NGO-JICA 協議会）で開催。</td></tr>
<tr><td>受益対象者および人数</td><td>・ODA に関心のある市民、NGO、ODA が実施されている国の市民
・外務省及び JICA の支援スキームを活用している NGO、あるいは今後活用を予定している中小規模、新しい NGO</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>（1）提言専門委員会の開催、JICA 基金の運営及び審査
本年度も 2016 年度に引き続き、理事会が事務局のサポートのもとに直接提言活動を担う体制を取り、委員会は休会とした。
JICA 基金運営委員については、2016 年度に引き続き、河合将生（office musubime／個人準会員）に提言専門委員会外部アドバイザーの立場で、理事会・事務局と連携を取りながら対応を依頼した。
（2）各協議会の参加
NGO-外務省定期協議会、NGO-JICA 協議会に委員・コーディネーターを派遣するとともに、以下の会議に出席して議事に加わり、その内容を加盟団体にフィードバックした。

■NGO-外務省定期協議会
□<u>全体会議</u>
日程：2017年6月6日（火）14：00～16：00
会場：外務省 8 階南 893 国際会議室
参加：熱田典子（理事）、加藤良太（理事）
主な議題：①地域の NGO の政策環境、②市民社会スペースについて、③平成 29 年度開発協力重点方針および予算について、④日本 NGO 連携無償資金協力および NGO 活動環境整備支援事業について
議事録：外務省 ODA（政府開発援助）ホームページ
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000629.html

□<u>ODA 政策協議会</u>
担当：加藤良太（理事）
<table>
<tr><th>名称</th><th>日程</th><th>会場</th><th>派遣者</th></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>2017 年 7 月 11 日（火）</td><td>外務省 8 階南 893
国際大会議室</td><td>加藤</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>2017 年 12 月 13 日（水）</td><td>外務省 8 階南 893</td><td>加藤</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		国際大会議室	
第 3 回	2018 年 3 月 1 日(木)	京都市国際交流会館 特別会議室	加藤 事務局:谷川、佐古、高橋

主な議題:①特定秘密の指定における ODA 関連情報等の取扱いについて、②SDGs と ODA の関わり(2017 年度開発協力重点方針、2018 年度 ODA 予算要求、地域展開、SDGs アクションプラン 2018 等)、③プロサバンナ事業およびナカラ回廊経済開発(モザンビーク共和国)について、④国内外の市民社会スペースについて、⑤2019 年 G20 大阪サミットについて
議事録:外務省 ODA(政府開発援助)ホームページ
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000629.html

□連携推進委員会
担当:熱田典子(理事)

名称	日程	会場	派遣者
第 1 回	2017 年 6 月 29 日(木)	外務省 8 階南 893 国際大会議室	―
第 2 回	2017 年 11 月 30 日(水)	外務省 8 階南 893 国際大会議室	熱田
第 3 回	2018 年 2 月 23 日(金)	外務省 8 階南 893 国際大会議室	―
	2018 年 3 月 30 日(金)	連携賛助会員報告会	熱田

主な議題:①NGO 活動環境整備支援事業の成果と課題、②日本 NGO 連携無償資金協力における医療行為の扱いについて、③日本 NGO 連携無償資金協力の成果と課題
議事録:外務省 ODA(政府開発援助)ホームページ
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000629.html

■NGO-JICA 協議会
担当:坂西卓郎(提言専門委員会外部アドバイザー)

名称	日程	会場	
第 1 回	2017 年 6 月 4 日(火)	JICA 本部 228/229 会議室	坂西
第 2 回	2017 年 10 月 16 日(月)	JICA 北海道(札幌)	坂西、柏木 事務局:高橋
第 3 回	2017 年 12 月 14 日(木)	JICA 本部 228/229 会議室	事務局:高橋 (JICA-Net での参加)
第 4 回	2018 年 3 月 15 日(木)	JICA 本部 228/229 会議室	坂西 栗田 ※次期コーディネーター 事務局:高橋
※本会場と国内拠点、在外事務所を JICA－Net で会議接続を実施している。			

主な議題:①草の根技術協力事業の質の向上と裾野拡大に向けて、②「NGO と多様なアクターの連携促進」事例発表及び意見交換、③「ネットワーク NGO の活用促進を通じた地域における NGO、JICA の協働体制」
http://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/

■JICA 基金運営委員会
担当:河合将生(提言専門委員会外部アドバイザー)
「世界の人びとのための JICA 基金(JICA 基金)」では、過去の NGO-JICA 協議会における協議結果を踏まえ、NGO の知見を JICA 基金の運営に活かすべく、運営委員のうち 2 名はネットワーク型 NGO から選出、年 2 回の JICA 基金運営委員会に参加
開催場所:独立行政法人国際協力機構本部

	＊参考 URL 世界の人びとのための JICA 基金： https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/01.html 世界の人びとのための JICA 基金活用事業： https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/09.html

事業名（継続）	**政策提言活動、声明文及び意見書の発信・賛同**
担当	担当理事：加藤、柏木 担当部署：理事会 事務局：髙橋
実施内容	○「南スーダン等支援現場への渡航制限による人道支援の空洞化とその改善への要望」（2017 年 4 月 26 日、NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）他）の要望団体への参加

	その他参加した活動
担当	担当理事：加藤、柏木 担当部署：理事会 事務局：髙橋
参加内容	○「NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）」協力団体への加盟（継続） ○「秘密保護法 NGO アクションネットワーク（NANSL）」（※）構成団体への加盟（継続）と共同代表（柏木宏（代表理事））、世話人（加藤良太（理事））の派遣 ○「NGO 非戦ネット」への加盟（継続） ○「ビジネスと人権 NAP 市民社会プラットフォーム」への加盟（新規） ※なお、NANSL は 2018 年 4 月末に解散し、その活動を引き継ぐ「市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANCiS）」が同 5 月に設立されたが、当会は加盟しないこととした。

4. NGO 活動に関する相談・支援活動

事業名(継続)	**【受託】外務省 NGO 環境整備事業** **国際協力に関する相談対応、出張サービス(ブース出展、講演など) の実施**
	担当:高橋、谷川、松岡
実施日時	随時対応、 スタディツアー合同説明会、ワンフェス for Youth 等でのブース出展 青年海外協力隊等募集説明会相談コーナーの設置
実施場所	関西 NGO 協議会事務所、諸会合、講演・セミナー会場、イベントなど
受益対象者および人数	国際協力に関心のある個人、団体、教育機関、企業など 相談件数:969 件　相談者数:569 名　出張サービス:20 件
実施内容	当会に寄せられた国際協力、NGO 活動に関する相談、国際協力に関する講演やイベントでのブース出展依頼に対応した。中間組織や業界団体とのネットワーク、NGO と企業、NGO と一般市民との連携や協力関係づくりも意識して取り組み、昨年度に続き、教育関係者や高校生からの講演依頼が増加傾向にある。 近畿ブロック相談員ミーティング(2 回)、国際協力推進員×NGO 相談員会議(1 回)の開催、全国相談員連絡会議(2 回)に参加した。

事業名(継続)	**第 4 回　関西地域 NGO 助成プログラム**
担当	理事:東川 事務局:高橋
共催	宗教法人 真如苑
最終審査 (公開プレゼン)	日時:2017 年 11 月 10 日 (土)13:00～16:30 カトリック大阪梅田教会 4 階会議室 参加団体:10 団体
助成期間	2017 月 12 月 1 日～2018 年 10 月 31 日
助成テーマ	①組織基盤強化助成　②プロジェクト実施助成
助成先	①NPO 法人 アクセス－共生社会をめざす地球市民の会 「インターネット広報の戦略的強化を通じた団体基盤強化事業」 ②Bokk Jambaar 「健康な地域社会づくりプロジェクト基礎調査 ―マラリア予防か らの アプローチの可能性― (活動対象地域:セネガル)」 Rehab-Care for ASIA 「タイ国ポータラーム郡における寝たきりゼロ事業実践のための 現地調査 (活動対象地域:タイ)」
審査委員会	委員長:新田和宏(近畿大学教授) 委員:河西実(フェア・プラス事務局長)、東川貴子(緑の地球ネットワーク事務局長/関西 NGO 協議会理事)、島田英樹氏(真如苑社会交流部) 協力:榛木恵子(関西 NGO 協議会個人会員)

事業名(新規)	**第 1 回 NGO 職員安全危機管理研修/安全管理ワークショップ**
担当	事務局:高橋、村上(インターン)
実施日時	2017 年 9 月 2 日(土)10:00～17:00
実施場所	大阪市立大学梅田サテライトキャンパス文化交流センター
協働先	(特活)難民を助ける会(AAR)、NGO 安全管理イニシアティブ(JaNISS)
受益対象者および参加人数	【対象者】加盟団体を中心に国際協力 NGO10 団体が参加
実施内容	【講師】 折居徳正　NGO 安全管理イニシアティブ(JaNISS) 山本英里　(公社)シャンティ国際ボランティア会 【プログラム】

人道・開発支援を巡る安全状況、人道支援原則	
リスク分析演習 I(脅威分析、グループワーク)	ケーススタディ資料使用
昼食	
リスク分析演習 II(脆弱性分析、リスク・マトリックス、予防と軽減、グループワーク)	ケーススタディ資料使用
各団体の課題、NGO 共通の課題の抽出、グループワーク	
休憩	
課題解決策の立案、 グループワーク、結果共有	
NGO 安全基準に関する意見交換	JaNISS 自主事業、 NGO 安全基準(案)資料の共有とフィードバック

事業名(継続)	**第 25 回ワン・ワールド・フェスティバル ブース出展** **①NGO 相談員ブース　②ワンフェス for Youthブース**
担当	事務局:谷川・佐古・高橋
実施日時	2018 年 2 月 4・5 日(土・日)10:00～17:00
実施場所	北区民センター2F ホール(大阪市北区扇町)
共同出展	①NGO 相談員ブース (公社)日本国際民間協力会(NICCO)、(公財)PHD 協会、(特活)国際協力 NGO センター(JANIC)、(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC) (特活)アイキャン(ICAN)、(特活)AMDA 社会開発機構 ②ワンフェス for Youth ブース ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ボランティアリーダーチーム
受益対象者および参加人数	①NGO 相談員ブース:NGO 職員、学生、教員を含む 86 名 ②ワンフェス for　Youth:高校生、高校教員を中心に 124 名
実施内容	①西日本最大の国際協力イベントであるワン・ワールド・フェスティバルにて、会場となった北区民センター2 階に「NGO 相談員ブース」を設営。全国の NGO 相談員でシフトを組み、開催時間を通して常時 2～3 人体制で、国際協力や ODA、NGO に関する質問・相談に対応した。また、ブース付近を通行する不特定多数の来場者、北区民センターで出展する NGO ブースには、NGO 相談員や外務省プログラムのチラシを配布し、相談員制度の広報、制度活用の普及に努めるとともに、プログラム参加を促した。 ②ワン・ワールド・フェスティバル事務局を務める(特活)関西国際交流団体協議会と連携し、ワンフェス for Youth のブースを出展。高校生ボランティアリーダーとしてワンフェス for Youth に参加した高校生たちと、高校生主体の国際協力イベントであるワン・ワールド・フェスティバル for Youth の周知に努めた。

事業名(新規)	**ODA、民間による国際協力支援プログラム説明会**
担当	理事:熱田 事務局:髙橋、佐古
実施日時	2018 年 2 月 3 日(土) 16:00～17:00
実施場所	北区民センター会議室 5・6(ワン・ワールド・フェスティバル内)
協働先	・外務省国際協力局民間援助連携室 課長補佐 定本憲明 ・JICA 関西市民参加協力課 主任調査役 白井宏明 ・日本国際協力システム 総務部総務課(JICS) 課長 宮下弘道 ・りそなアジア・オセアニア財団 専務理事・事務局長 恒田和徳
受益対象者および人数	関西地域の国際協力 NGO 、国際協力に関心のある市民 15 団体(21 名)
実施内容	NGO 連携無償資金協力(N 連)や JICA 草の根スキームなど、国際協力支援制度について説明を実施した。 その後、関連する情報を参加者へ随時共有している。 【参加者への情報発信】 ・2018 年度 JICA 安全対策研修(渡航者向け・管理者向け)に関する案内 ・平成30年度日本NGO連携無償資金協力(N連)及びNGO事業補助金の実施要領説明会案内 ・「外務省 NGO 支援制度」の URL 添付共有

事業名(継続)	**第 24 回セーフ・トラベル・セミナー**
担当	個人会員:榛木恵子
実施日時	2018 年 4 月 26 日(木)10:00～17:00
実施場所	キャンパスプラザ京都
協働先	(株)マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
受益対象者および参加人数	スタディツアーを企画・実施している NGO スタッフ、高校・大学のスタッフなど約 16 名
実施内容	第 1 部:基礎から学ぶ危機管理(感染症・旅行保険・旅行業法の基礎知識) 第 2 部:様々なアレルギーを持つ参加者への対応 **講 師:** 宮川眞一((公社)日本キリスト教海外医療協力会 元バングラデシュ派遣医師、心療内科医)、副島大典(AIG 損害保険(株))、山田和生((株)マイチケット)

ワン・ワールド・フェスティバルでの
ブース出展の様子(ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ブース)
(2018/2/4～2/5)

ブース出展においては、高校生ボランティアリーダー研修参加者(人材育成事業)がブースに立ち、積極的に活動紹介をおこなった

5. NGO 活動に関する人材育成事業

<table>
<tr><td>事業名(継続)</td><td>高校生国際協力・多文化共生リーダー育成プロジェクト</td></tr>
<tr><td>担当</td><td>理事:吉椿
事務局:佐古、谷川</td></tr>
<tr><td>実施日時・実施場所</td><td>日程:下記表を参照
場所:関西 NGO 協議会、大阪 YMCA、アクセス一共生社会をめざす地球市民の会</td></tr>
<tr><td>受益対象者・人数</td><td>関西地域の高校に通う高校生:16 名、大学生・社会人:6 名</td></tr>
<tr><td>共催・協力</td><td>【研修講師】
(一社)ソーシャルギルド　山本佳史・江熊遊斗、
(特活)アクセス一共生社会をめざす地球市民の会　森脇祐一
ウータン・森と生活を考える会　石崎雄一郎</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>次世代の市民社会を担う若者の育成を目的に平成 28 年度より継続実施している。2 年目となる今年度は①ボランティアマネジメントを学ぶ研修(ファシリテーション・チームビルディング等)、②実践の場としての「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」での当日運営、③地域で活動する NGO での講演や活動参加を行う研修を3つの柱として実施した。
研修を通して高校生達は積極的に自ら地域のボランティア活動に参加し、研修を通じて知り合った NGO 職員と連携して学校で講演活動を行うなどの事例もみられた。また、継続して参加する高校生や本研修の卒業生が卒業後もメンターとして本事業に関わりたいという声もでてきている。今後は本事業の卒業生の協力も得ながら、事業を継続実施していくためのさらなる組織の基盤強化を試みていく。
【開催日程・研修内容】
<table>
<tr><th>日程</th><th>研修内容</th></tr>
<tr><td>7 月 22 日(日)</td><td>メンバー顔合わせ、「国際人とは」をテーマにした話し合い</td></tr>
<tr><td>9 月 3 日(土)</td><td>会議の進め方とファシリテーションをテーマにした研修の実施</td></tr>
<tr><td>10 月 1 日(日)</td><td>「対話・コミュニケーション」をテーマにした研修の実施と 12 月のイベントに向けた話し合い</td></tr>
<tr><td>11 月 5 日(日)</td><td>高校生ボランティアリーダーの事業への意識共有</td></tr>
<tr><td>12 月 3 日(日)</td><td>12 月イベントに参加する当日ボランティアとの交流会を実施</td></tr>
<tr><td>12 月 17 日(日)</td><td>当日ボランティアに向けた事前説明会を開催</td></tr>
<tr><td>12 月 22 日(木)</td><td>「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」の事前準備と最終打ち合わせ</td></tr>
<tr><td>12 月 23 日(祝)</td><td>当日運営。当日ボランティアのマネジメント</td></tr>
<tr><td>1 月 13 日(日)</td><td>イベントでのボランティアリーダー活動振返り、事業後半の目標の共有</td></tr>
<tr><td>2月 11 日</td><td>(特活)アクセス一共生社会をめざす地球市民の会事務所へ訪問研修。
「国際協力ボランティアとは何か」を考えるワークショップの実施</td></tr>
<tr><td>2 月 3 日(土)・4日(日)</td><td>「ワン・ワールド・フェスティバル」にてユース事業のブース運営</td></tr>
<tr><td>3月 11 日(日)</td><td>「足元から考える国際協力」をテーマにウータン・森と生活を考える会の石崎氏より講演
高校生ボランティアリーダーの今年度事業に対する全体振り返り</td></tr>
</table>
※大阪市ボランティア活動振興基金
「高校生等若者による国際協力・多文化共生ボランティアチーム創設プロジェクト」
※大阪コミュニティ財団「多文化共生・国際協力活動を通じた高校生ボランティアリーダー育成事業」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名(新規)</td><td>【受託事業】 JICA NGO 等提案型プログラム
SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた国際 NGO と地域の NPO や他セクターの連携促進を担う人材／団体の育成事業</td></tr>
<tr><td>担当</td><td>事務局/高橋・石井・佐古
運営委員/伊藤愛((公財)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所)、梅田純平((社福)大阪ボランティア協会)、岡島克樹(大阪大谷大学)、河合将生(office</td></tr>
</table>

	musubime)、外間孝次((一財)H_2O サンタ/阪急阪神百貨店)
実施日時	第 1 回運営員会(1 月 12 日)、第 2 回運営委員会(3 月 22 日)
実施場所	大阪聖パウロ教会 4 階研修室
協働先	JICA 関西
実施内容	SDGs を理解しているだけではなく、SDGs を活用できる人材や団体(NPO／NGO)を育成し SDGs の達成を目指す研修事業の実施を目的とし、マルチステークホルダー連携型運営員会を発足。 5 月 11 日に実施予定のマルチステークホルダー連携型シンポジウムの内容、講師選定や今年度 11 月より実施予定の研修についての内容や評価指標方法についての協議を行った。 【運営委員会の開催】 ・第 1 回運営員会:15:00-17:00 -マルチステークホルダー連携型シンポジウムの企画と講師の方針決定、及び開催日程・会場の協議を行う -研修の構成や内容に関する協議の実施 ・第 2 回運営員会:10:00-12:00 -シンポジウム(パネルディスカッション)当日の進め方についての協議 -事務局から運営委員会に向けて 11 月から実施予定の研修プログラム内容の共有 -研修評価指標へのルーブリック評価の活用に関しての話し合い

事業名(単発)	**若手 NGO スタッフを対象とした企業協賛・営業勉強会 ～協賛企業担当者に聞く NGO 営業のポイントと営業の基本～**
担当	事務局:谷川
実施日時	2017 年 8 月 31 日(木)15:00～17:30
実施場所	関西 NGO 協議会
受益対象者および人数	加盟団体の若手スタッフ・インターン　計 5 名
共催・協力	講師協力:宮原崇仁、坂口裕一(ジブラルタ生命保険株式会社中之島支社)
実施内容	協賛依頼などで企業等へ営業を行う NGO の若手スタッフを対象に、NGO スタッフが企業側の視点を知ることで、今後の NGO と企業との連携促進の糸口を得る事を目指し開催した。協賛企業担当者の視点から NGO の強みや企業側が重視するポイントや、営業の基本について報告を受けた。

事業名(継続)	**インターン受け入れ**
担当	事務局:高橋
インターン	(特活)AMDA 社会開発機構の紹介を受け、村上明日香(環太平洋大学 1 年生)さんを大学夏季休暇の期間受け入れた。9 月 2 日に開催した NGO 職員向け安全管理研修事業を担当した。

事業名	**紛争解決と共生社会づくりのための実践的参加型コミュニティ開発研修コース**
担当	理事:三輪 事務局:高橋
実施内容	2019 年度の新たな研修実施に向けて、ファシリテーターの中田豊一さんともに JICA 側と協議を継続した。

6. 組織、事務局

<table>
<tr><td>理事会</td><td>2017 年度理事会の開催</td></tr>
<tr><td>担当</td><td>事務局:高橋</td></tr>
<tr><td>理事</td><td>代表理事　柏木宏　大阪市立大学
副代表理事 熱田典子（公社)アジア協会アジア友の会
栗田佳典　(特活)テラ･ルネッサンス（ワンフェス forYouth)
田尻忠邦　(公財)大阪 YMCA（CS ネットワークフォーラム/ワンフェス forYouth)
東川貴子　(特活)緑の地球ネットワーク（関西地域 NGO 助成プログラム)
三輪敦子　(特活)AM ネット　(PCD 研修)
吉椿雅道　(特活)CODE 海外災害援助市民センター（高校生 VL 研修)
加藤良太　OIKOLABO 代表（政策提言)
平岩久里子 池坊短期大学（広報)
村尾佳子　グロービス経営大学院(CS ネットワークフォーラム)
※高橋美和子　(特活)関西 NGO 協議会</td></tr>
<tr><td>監事</td><td>岩﨑裕保（特活)開発教育協会/DEAR　武田かおり(特活)AM ネット</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>【理事会】会場:大阪聖パウロ教会 4 階　事務所横研修室
<table>
<tr><th>回数</th><th>日程</th><th>主要な議題</th></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>2017 年
5 月 27 日(土)</td><td>①代表、副代表理事の決定と承認
②常任理事会規定の承認、役員の業務分担
③役員交通費及び謝金規定</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>6 月 28 日(水)</td><td>①共謀罪セミナーの開催
② 研修室解約に伴う経費削減
③ワンフェス(本体)関団協協力体制</td></tr>
<tr><td>第 3 回</td><td>8 月 2 日(水)</td><td>①JICA より関西における SDGs プラットフォーム構想の説明
②ワンフェス実行委員会の参加要請</td></tr>
<tr><td>第 4 回</td><td>9 月 28 日(木)</td><td>①関西 SDGs プラットフォーム参加検討
②ワンフェス(本体)</td></tr>
<tr><td>第 5 回</td><td>11 月 15 日(水)</td><td>①JICA より関西 SDGs Platform 運営委員就依頼の説明
②.新 NANSL への移行と構成団体参加の検討
③JICA 基金運営報告</td></tr>
<tr><td>第 6 回</td><td>2018 年
1 月 17 日(水)</td><td>①30 周年創立記念行事実行委員会準備会
②G20 大阪開催における KNC の役割
② NGO-JICA 協議会次年度コーディネーターの選出･承認</td></tr>
<tr><td>第 7 回</td><td>2 月 22 日(水)</td><td>①30 周年創立記念行事実行委員会
②『市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCiS)』移行に伴う構成団体参加</td></tr>
<tr><td>第 8 回</td><td>4 月 11 日(水)
18:00～21:00</td><td>①第 17 回定期総会
②2018 年度事業計画
③2018-19 監事の選出･承認</td></tr>
</table>
【監査】会場:大阪聖パウロ教会 4 階　事務所横研修室
<table>
<tr><td>2018 年
5 月 14 日(月)</td><td>監事の岩﨑･武田により、2017 年度会計･業務監査が実施された。事務局からは高橋が出席した。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

任理事会	**2017 年度常任理事会の開催**
常任理事	柏木宏(代表理事)、熱田典子(副代表理事) 事務局:髙橋
実施日	【会場】関西 NGO 協議会事務局、大阪市立大学梅田サテライト 【実施日】6 月 28 日(水)、9 月 28 日(木)、11 月 9 日(木)、2018 年 1 月 16 日(火)、2 月 21 日(水)3 月 16 日(月)

2017 年度事務局体制	
事務局スタッフ	高橋美和子(事務局長代行・職責理事) 谷川詩織(広報・啓発事業担当) 佐古瑞穂(研修事業補助業務担当) 松岡秀紀(かんさい CS ネットワークフォーラム、NGO 相談員担当) 石井大輔(SDGs研修担当)
インターン	村上明日香(環太平洋大学 1 年生)
ボランティア	中村順子、和田みのり、鳥飼卓

2017 年度ワンフェス forYouth 運営委員会	
運営委員長 監事	運営委員長 林田雅至(大阪大学教授) 副運営委員長 杉浦真理(立命館宇治高校教員) 栗田佳典((特活)テラ・ルネッサンス) 監事 田中めぐみ(京都女子高校教員) 坂西卓郎((公財)PHD 協会)
運営委員 (所属組織)	・大阪府立狭山高等学校 ・大阪府立堺東高等学校 ・大阪府立佐野高等学校 ・大阪府立渋谷高等学校 ・大阪府立北摂つばさ高等学校 ・大阪府立松原高等学校 ・兵庫県立国際高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・神戸龍谷中学校高等学校 ・灘中学校・高等学校 ・京都女子高等学校 ・京都学園中学高等学校 ・立命館宇治中学校・高等学校 ・立命館守山中学校・高等学校 ・大阪 YMCA 国際専門学校国際高等課程 ・大阪大学 CO デザインセンター ・(公社)アジア協会アジア友の会 ・(公財)大阪 YMCA ・(特活)開発教育協会 ・(特活)テラ・ルネッサンス ・(公財)PHD 協会 ・(特活)関西 NGO 協議会※事務局
事務局	高橋美和子、谷川詩織、佐古瑞穂

2017 年度ワンフェス forYouth 高校生実行委員会	
実行委員長 顧問	・実行委員長： 吉岡真凜（立命館守山高校） ・副実行委員長： 川﨑杏奈（立命館守山高校） 寺岡直哉（兵庫県立兵庫高校） 横田藍子（大阪府立佐野高校） ・顧問： 杉浦真理（立命館宇治高校教員）
実行委員 12 名 （所属高校）	・大阪府立佐野高等学校 ・大阪府立松原高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・京都学園高等学校 ・立命館宇治高等学校 ・立命館守山高等学校
事務局	谷川詩織

2017 年度かんさい CS ネットワークフォーラム運営委員	
運営委員	柏木宏（大阪市立大学教授） 村尾佳子（グロービス経営大学院 松岡秀紀（京都 CSR 推進協議会全事務局長、ヒューライツ大阪特任研究員）
理事	村尾佳子、田尻忠邦
事務局	松岡秀紀、髙橋美和子

2017 年度関西地域 NGO 助成プログラム審査委員会	
審査委員	新田和宏（近畿大学教授/個人会員） 河西実（フェア・プラス常任理事/準会員）） 東川貴子（緑の地球ネットワーク事務局長/準会員） 島田英樹（真如苑社会交流部/賛助会員）
協力	榛木恵子（個人会員）
理事	東川貴子
事務局	高橋美和子

2017 年度 SDGs 研修運営委員会	
運営委員会	伊藤愛　（公財）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所 梅田純平　（社福）大阪ボランティア協会 岡島克樹　大阪大谷大学 河合将生　office musubime 外間孝次　（一財）H_2O サンタ／（株）阪急阪神百貨店
事務局	石井大輔、佐古瑞穂、髙橋美和子

※文中敬称略